

新興国レポート

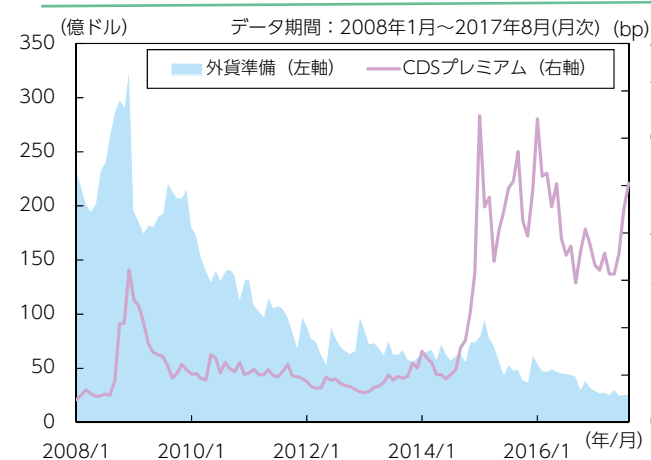
# ベネズエラ国債の格下げについて

## 財政危機から選択的デフォルトへ格下げ 中国・ロシアが支援

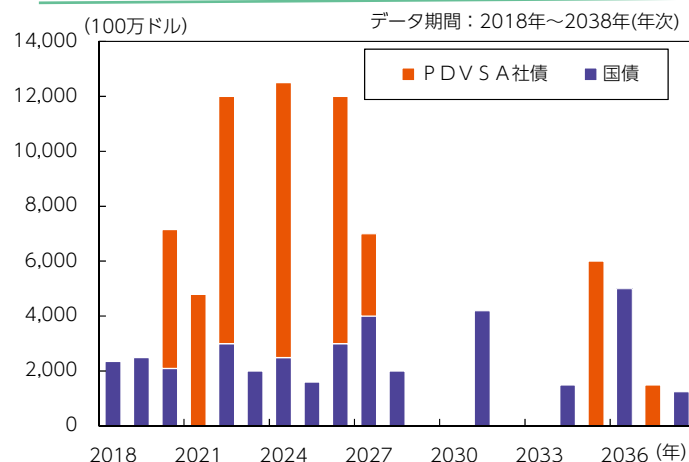
- ▶ 大手米格付会社、財政危機に直面する南米ベネズエラの国債を「選択的デフォルト」に格下げ。
- ▶ 政治の混乱が続けば、国営石油会社の社債を含め、今後国債のデフォルトに発展する可能性も。中国とロシアからの支援を取り付けるが資源権益を失う可能性も。

- 大手米格付会社のS & Pグローバルは11月13日、一部の米ドル建て国債の利息が猶予期限までに支払われなかったことから、南米ベネズエラの外貨建て長期国債の格付を、債務の一部が期日までに履行されなかったことを示す「選択的デフォルト」へと引き下げました。世界有数の原油埋蔵量を保有する南米ベネズエラですが、同国は過去に経済危機を何度も経験してきました。2006年当時のチャベス政権が国営の石油会社PDVSAを通じて石油開発への外国資本の投資への制限を設けたことから、開発に携わっていた国際石油資本（石油メジャー）は撤退しています。また、2013年にチャベス大統領の後を継いだマドゥロ政権が強権的な政治手法を進めたことから、米国から共同事業の禁止や入国制限等の経済制裁措置を受けています。国内に競争力のある産業がほぼなく、原油輸出が輸出総額の95%を占める偏った産業構造であるため、昨今の原油価格の下落などにより、原油による収益は2012年の4分の1程度まで減り、外貨準備高は大きく減少しています(図表1)。2015年時点の対外債務の合計は1,400億ドルと予想されており、今後の国債やPDVSA社債の償還(図表2)や利息の支払いを巡るデフォルト(債務不履行)懸念等から直近のCDSプレミアム(デフォルトに備えた保証料)は急上昇しています(図表1)。
- マドゥロ政権はデフォルトを避けるべく債務再編などの交渉を進めており、豊富な資源権益の獲得が狙いであるとの見方もあるものの、中国とロシアが融資や債務再編などでの支援を表明しています。混乱の原因は経済失政によるところが多いと見られており、交渉の行き詰まり等から仮にデフォルトとなった場合でも、国際金融市場への影響は限定的なものに留まると考えられます。但し、700%程度とも言われる物価高騰等に苦しむ国民生活を更に圧迫する可能性もあり、経済・政情不安による隣国への難民問題に発展したり、米国に程近い同国への中国やロシアの関与が深まる場合などは、地政学リスクのひとつとして意識されるケースも想定されます。同国は世界有数の原油埋蔵国であり、サウジアラビアなど中東情勢の緊迫により上昇傾向となっている原油価格への影響も懸念されます。

(図表1) 外貨準備高・CDSプレミアムの推移



(図表2) PDVSA社債・国債の償還日



(出所) 図表1~2はブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等: ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント